



Auracast™ トランスミッター

HA-T100

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いの方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の2つに区分しています。

警告

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 水に入れたり、濡らしたりしないでください。また、水が入った容器や金属片などを機器の上に置かないでください。火災や関電の原因になります。
- AC100V 50/60Hz の電源で使用してください。これ以外の電源では火災や関電の原因になります。
- 必ず専用の電源アダプターを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因になります。また、電源アダプターはほかの機器には使用しないでください。
- 電源アダプターのコードの上に重いものを載せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因になります。電源アダプターのコードが傷んだら、ただちに使用を中止し販売店に交換をご依頼ください。
- 本製品は電波を使用しています。心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くでは、医療機器の動作に影響を与える可能性があります。事前に医師や医療用電気機器製造業者または販売業者にご相談ください。
- 医療機関内や航空機内で使用しないでください。電波の影響によって機器が誤作動し、事故の原因になる恐れがあります。
- 万一、落したり筐体を破損した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると火災の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、金属部分や電源アダプターに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、直ちに電源アダプターをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造を行わないでください。お客様が保守できる内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保障の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや故障の原因となります。
- 以下のような場所には設置しないで下さい。
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ 湿気の多い場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
 - ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 配線は説明書に従って正しく行ってください。誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 機器の移動は、電源アダプターをコンセントから抜き、他の機器との接続をすべて外してから行ってください。
- 濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ご使用にならないときは電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 長時間使用する場合は、AC アダプターや本体が熱くなることがありますが、異常ではありません。ただし、触れられないほど熱くなる場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 本製品を廃棄する際は、お住まいの自治体の指示に従って正しく廃棄してください。
- 本製品は、日本国内の電波法に基づいて設計・認証されています。そのため、海外での使用はできません。海外で使用した場合、各国の法律により罰せられることがあります。

使用上のご注意

本製品をより快適にご使用いただくために、以下の点にご注意ください。

電波に関する注意

- 本製品は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。変調方式として FHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される与干渉距離は約 80m 以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。



- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けた特定無線設備です。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。製品本体またはパッケージに技適マークおよび認証番号が表示されていますのでご確認ください。ただし以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解・改造すること。
 - ・ 本製品に貼ってある認証番号が表示されたラベルをはがすこと。
- 本製品は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 - ・ この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一、本製品から上記の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用を中止してください。
 - ・ 不明な点、その他お困りのことが起きた時は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
- 下記の電子機器と本機との距離が近い場合、電波干渉により正常に動作しない、または雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - ・ 2.4GHz 帯の周波数を使用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話機などの機器。
 - ・ ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
 - ※ 映像や音声にノイズが乗ることがあります。
- Auracast のブロードキャストオーディオは、受信範囲内にいる不特定多数の Bluetooth LE Audio 対応機器で受信可能です。公共の場所でプライベートな音声をブロードキャストする際はご注意ください。必要に応じて、暗号化されたブロードキャストをご利用ください。また、重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

接続機器について

- 本製品に接続するオーディオ機器や Bluetooth 受信機器(イヤホン、スピーカーなど)の取扱説明書も合わせてお読みください。
- すべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません。
- 接続する Bluetooth 受信機器が Bluetooth LE Audio および Auracast に対応している必要があります。

その他の注意

- 本製品は128bit のキーを使用した伝送暗号化機能がありますが、第三者による傍受に対してセキュリティーを保証するものではありません。
- 高電圧送電ケーブル、携帯電話、ブラウン管、テープレコーダー等の強電磁界付近への設置は避けてください。外部からの誘導電界は音声回路に悪影響を与えます。
- 本製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

目次

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	3
目次	4
主な特徴	5
各部の名称と機能	6
セットアップ	8
仕様	13
履歴	14

主な特徴

本製品は、Bluetooth® Auracast™テクノロジーを搭載し、多様な入力オプションとシンプルな操作性を兼ね備えた業務用途にも最適なオーディオトランスミッターです。電源を入れればすぐに、高品質な音声を複数の受信者へ低遅延で安定的にブロードキャストできます。

Auracast™ブロードキャストオーディオ対応: 多人数へ一斉音声送信

1つの音源から、Auracast™対応の複数の Bluetooth®イヤホン、スピーカー、補聴器などへ同時にワイヤレスで音声を送信。

講演会やセミナーの参加者、施設内の特定グループなど、受信人数に制限なく(※)同一のオーディオ体験を提供できます。

プロフェッショナルユースに応える多様な入力端子

業務用の音響機器との接続に不可欠な**XLR バランス入力(L/R)**をはじめ、RCA ステレオ入力、3.5mm ステレオミニジャックのアナログ入力に対応。

さらに、PC やスマートフォン等とケーブル1本で音声入力と給電が可能な USB-C オーディオ入力にも対応し、幅広い機器との接続を実現します。

高音質・低遅延を実現する Bluetooth® LE Audio

最新の Bluetooth® LE Audio 技術と高効率オーディオコーデック「LC3」を採用。

従来の Bluetooth®オーディオと比較して、遅延を大幅に抑えつつ、よりクリアで忠実な音声を伝送。番組制作時の音声送り返しなど、音質とタイミングが重視される業務にも最適です。

電源 ON ですぐ使える、徹底的にシンプルな操作性

操作部を極力シンプルに設計。専門的な知識がない方でも直感的に操作でき、電源を入れればすぐに使用を開始できます。

迅速なセットアップが求められるイベント現場や、どなたでも簡単に使えることが重要な公共施設などでの運用に適しています。

高出力アンテナによる安定した音声配信

高出力アンテナにより、従来の Bluetooth®機器よりも広範囲へ安定した音声ブロードキャストを実現。

講演会場や展示会場、スポーツバーなど、電波環境が複雑になりがちな広い空間でも、途切れにくくクリアな音声を届けます。

128bit 暗号キーによるセキュアな音声配信

専用アプリケーションを使用して 128bit の暗号キーを設定可能。

機密性の高い会議内容や、限定されたメンバー間での情報共有など、セキュアなコミュニケーションが求められる場面でも安心してご利用いただけます。

USB-C によるスマートな給電と接続

付属の専用 AC アダプターからの USB-C ポート給電に加え、USB-C オーディオ入力時は、対応機器とケーブル1本で音声入力と電源供給を同時に行えるため、配線をシンプルに保てます。

多様な業務シーンで新たな音声ソリューションを提供

これまで音声提供が難しかったデジタルサイネージや展示物への音声付加。

騒がしい番組制作現場でのスタッフへのクリアな指示伝達(送り返し)。

講演会や国際会議での多言語同時通訳の配信。

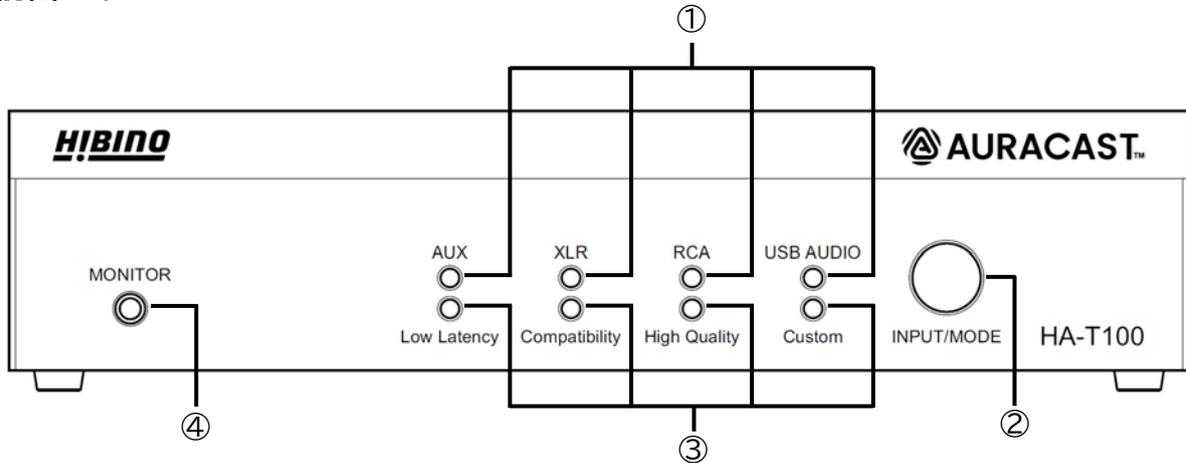
スポーツバーやパブリックビューイングでの臨場感あふれる音声共有など、小規模から大規模まで、様々な業務用途で音のバリアフリーと新たな価値を創造します。

(※)受信可能な人数は理論上無制限ですが、実際の接続可能数は周囲の電波環境や受信機器の性能によって変動する場合があります。

各部の名称と機能

ここでは、本機の各部の名称と機能について記載します。

■ 前面パネル



① 入力選択インジケータ

現在選択されている入力端子の状態を表示します。

入力を切り替える場合は、② INPUT/MODE スイッチをシングルクリックしてください。

本設定は、電源をオフにしても保持されます。

② 音声モードインジケータ

送信中の音声モードの選択状態を表示します。

音声モードを切り替える場合は、② INPUT/MODE スイッチをダブルクリックしてください。

本設定は、電源をオフにしても保持されます。

③ INPUT/MODE スイッチ

入力選択インジケータ(①)および音声モードインジケータ(②)を操作するためのスイッチです。

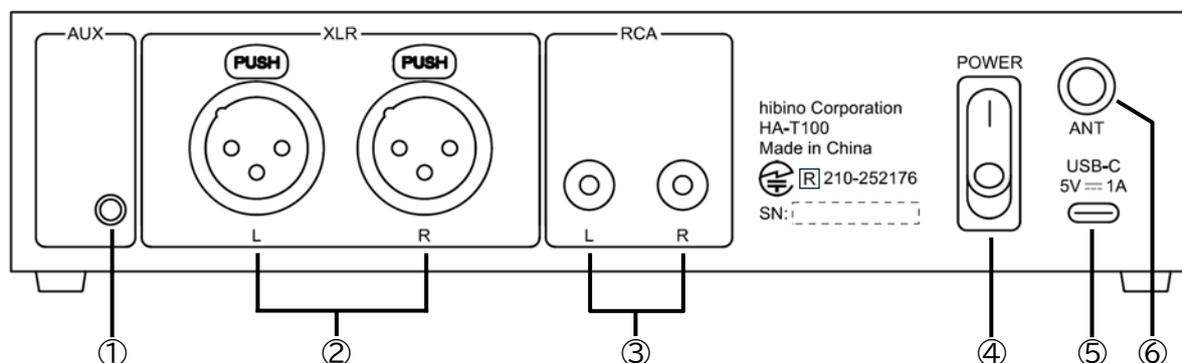
- ・ シングルクリック:入力端子を切り替えます
- ・ ダブルクリック:音声モードを切り替えます

④ モニター端子

選択されている入力信号を確認するための端子です。

φ3.5mm ステレオミニジャック対応のヘッドホン等をご使用ください。

■ 背面パネル



① AUX 入力

φ3.5mm ステレオミニジャック方式の音声入力端子です。
ラインケーブルを使用して、各種再生機器を接続してください。

② XLR 入力

XLR3P(ピン)、バランス仕様の音声入力端子です。
ラインケーブルを使用して、各種再生機器を接続してください。

③ RCA 入力

RCA アンバランス仕様の音声入力端子です。
ラインケーブルを使用して、各種再生機器を接続してください。

④ 電源スイッチ

本機の電源 ON/OFF を切り替えるスイッチです。

⑤ USB-C 入力

USB-C 仕様の音声入力端子です。USB2.0 に準拠しています。
USB オーディオ入力端子として各種再生機器を接続できます。
また、本端子から電源も供給されます。
電源端子として使用する場合は、必ず付属の AC アダプターをご使用ください。

⑥ アンテナ

信号を送信するためのアンテナです。
取り外しは行わないでください。

セットアップ

ここでは、本機のセットアップの方法について説明します。使用までの流れは以下の通りです。

- ① Auracast デバイスマネージャーで初期設定を行う

↓

- ② 入力端子に各種再生機器を接続する

↓

- ③ 電源を ON にする

↓

- ④ 入力選択を行う

↓

- ⑤ 音声モード選択を行う

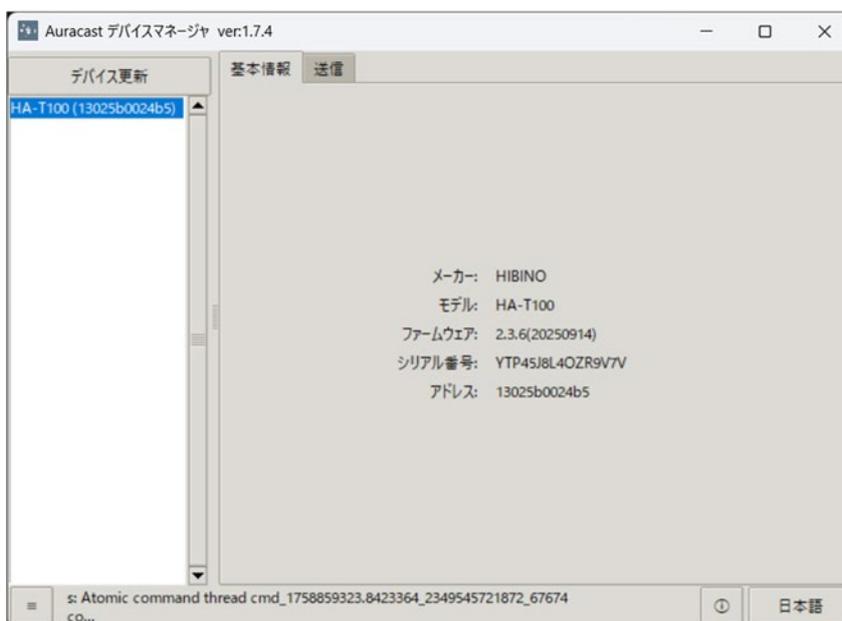
- ① Auracast デバイスマネージャーで初期設定を行う

1. 付属の「Auracast デバイスマネージャー(AuracastDeviceManager-vx.x.x.exe)」をパソコンの任意のフォルダに保存してください。
2. 電源は OFF のまま、付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続してください。
3. 「Auracast デバイスマネージャー」を起動してください。
4. 以下の設定画面に従って、初期設定を行ってください。

「基本情報」タブ

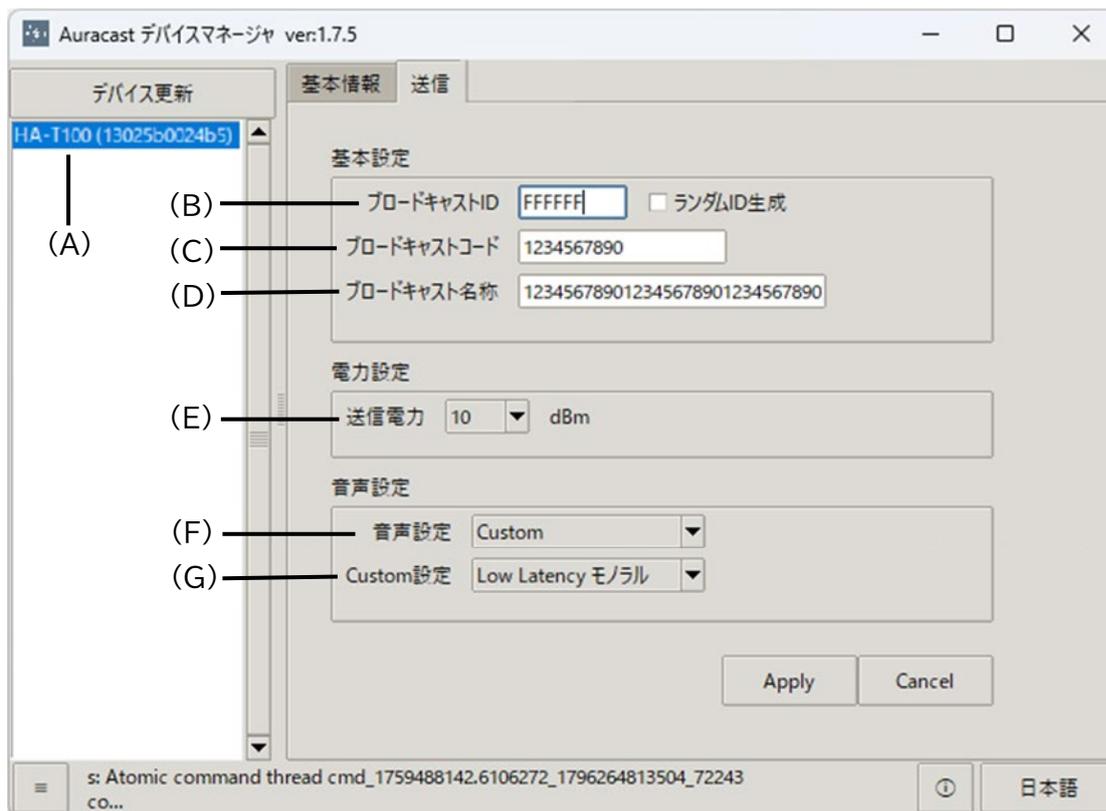
本機のファームウェアのバージョン、シリアル番号、Bluetooth アドレスが確認できます。

このタブで設定する項目はありません。



「送信」タブ

- (A) デバイス名称
- (B) ブロードキャスト ID
- (C) ブロードキャストコード
- (D) ブロードキャスト名
- (E) 送信電力
- (F) 音声設定
- (G) カスタム設定



- (A) デバイス名称

現在接続されている装置の型名が表示されます。

- (B) ブロードキャスト ID¹

ブロードキャスト ID の設定を行います。

受信機でブロードキャスト ID を使用した送信機のフィルタリングを使用しない場合は「ランダム ID 生成」にチェックを入れてください。

使用できる文字は“0～9”および“A～F”です(大文字・小文字の区別はありません)。

6文字のIDを設定してください。

¹ ブロードキャスト ID とは、Auracast のセッションを識別するための ID です。受信側は、この ID を使って目的のブロードキャストストリームを見つけ、正しく参加・復号するための手がかりにします。

(C) ブロードキャストコード²

ブロードキャスト信号の暗号化に使用する共通鍵文字列の設定を行います。

使用しない場合は空欄にしてください。

使用できる文字は英数字および記号(半角)です。半角 4 文字以上 16 文字以内で設定してください。

(D) ブロードキャスト名称³

アシスタントアプリ等に表示される送信機の名称を設定します。

空欄にはしないでください。

使用できる文字は英数字・記号(半角)および日本語(全角)です。

半角 4 文字以上 30 文字以内、または全角 2 文字以上 10 文字以内で設定してください。

(E) 送信電力

本機の送信出力を設定します。

プルダウンメニューにより、10dBm(10mW)~-16dBm(25μW)まで設定可能です。

(F) 音声設定

Auracast デバイスマネージャーで設定後にデフォルトで使用する音声モードを設定します。

プルダウンメニューにより、4 種類の音声モードが設定可能です。

本設定で選択した音声モードは、INPUT/MODE スイッチにより変更できます。

各音声モードの詳細は以下の通りです

音声モード名称	サンプリング周波数	モノラル/ステレオ	レイテンシ
Low Latency	24kHz	ステレオ	73ms
Compatibility	16kHz	モノラル	120ms
High Quality	48kHz	ステレオ	120ms
Custom	(F) カスタム設定で設定した音声モード		

(G) Custom 設定

音声モード設定を「Custom」に設定した時の音声モードを設定します。

プルダウンメニューにより、4 種類の音声モードが設定可能です。

各音声モードの詳細は以下の通りです

音声モード名称	サンプリング周波数	モノラル/ステレオ	レイテンシ
Low Latency モノラル	24kHz	モノラル	73ms
High Quality モノラル	48kHz	モノラル	120ms
HQ 低遅延	48kHz	ステレオ	87ms
HQ 低遅延 モノラル	48kHz	モノラル	87ms

² ブロードキャストコードとは、Auracast を暗号化する際に用いる「パスコード/共有秘密」のことです。受信側はこのコードを知っていないと、放送の復号鍵を導出できず、音声を聞くことができません。公開ブロードキャストでは不要ですが、保護された放送(Encrypted Broadcast)では必須です。

³ ブロードキャスト名とは、Auracast をユーザーが識別しやすいように表示するための人間可読な名前です。いわば「放送の見出し・タイトル」で、スキャン時に端末が一覧表示する際のラベルとして使われます。

② 入力端子に各種再生機器を接続する

ご使用になる再生機器を、本機の「AUX 入力」「XLR 入力」「RCA 入力」「USB-C 入力」それぞれの対応する端子に接続してください。

複数の入力端子に同時に再生機器を接続しても問題ありません。

■ AUX 端子

φ3.5mm のステレオまたはモノラルミニジャックのラインケーブルを使用し、各種再生機器と接続してください。

■ XLR 端子

XLR3 ピン、バランス仕様のラインケーブルを使用し、各種再生機器と接続してください。

■ RCA 端子

RCA 端子のラインケーブルを使用し、各種再生機器と接続してください。

■ USB-C 端子

● 音声入力として使用する場合

USB2.0 に準拠したケーブルを使用し、USB オーディオ再生機器と接続してください。

デバイス名は[HA-T100]です。

この場合、電源も再生機器側から本機に供給されます。

● 電源入力としてのみ使用する場合

必ず付属の AC アダプターを使用して USB-C 端子に電源を供給してください。

☐ ご注意

本機の最大入力レベルは 0dBu です。

再生機器からの出力レベルが最大入力レベルを上回らないようにご注意ください。

出力レベルが高い場合、音声が歪む原因となります。

③ 電源を ON にする

本機前面の電源スイッチを ON にします。

④ 入力選択を行う

本機前面の INPUT/MODE スイッチをシングルクリックし、送信する入力を選択してください。

選択された入力は「入力選択インジケーター」に表示されます。

⑤ 音声モード選択を行う

本機前面の INPUT/MODE スイッチをダブルクリックし、送信する音声モードを選択してください。

選択された音声モードは「音声モードインジケーター」に表示されます。

各音声モードの詳細は以下の通りです

音声モード名称	サンプリング周波数	モノラル/ステレオ	レイテンシ
Low Latency	24kHz	ステレオ	73ms
compatibility	16kHz	モノラル	120ms
High Quality	48kHz	ステレオ	120ms
Custom(Low Latency モノラル)	24kHz	モノラル	73ms
Custom(High Quality モノラル)	48kHz	モノラル	120ms
Custom(HQ 低遅延)	48kHz	ステレオ	87ms
Custom(HQ 低遅延 モノラル)	48kHz	モノラル	87ms

仕様

Bluetooth バージョン	5.4
コーデック	LC3
サンプリング周波数	16,24,48kHz
データ深度	16bit
チャンネル数	モノラル(Lch または Rch 分岐),ステレオ
レイテンシ	73msec(Low Latency), 120msec(compatibility), 120msec(High Quality)
最大入力レベル	0dBu (AUX,XLR,RCA)
入力インピーダンス	High (AUX,XLR,RCA)
周波数特性	±1dB (50Hz~16kHz) *音声モード:High Quality
THD+N	3%以下 (50Hz~16kHz) *音声モード:High Quality
SN比	70dB 以上 (A-weighted) *音声モード:High Quality
クロストーク	65dB 以上 (8kHz) *音声モード:High Quality
空中線電力	最大 10mW
電源	DC5V(1A)
消費電力	0.3W
寸法(W×H×D)	190×42×117(突起部を除く)
質量	750g
付属品	USB ケーブル、AC アダプター

履歴

Revision	変更内容
1.00	新規作成

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。Auracast™ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ヒビノ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

© 2025 Hibino Corporation. All Rights Reserved.

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。